



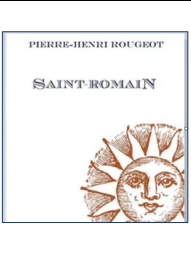
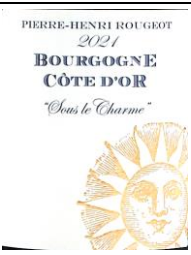



**Pierre-Henri Rougeot**  
 ピエール=アンリ・ルージュ

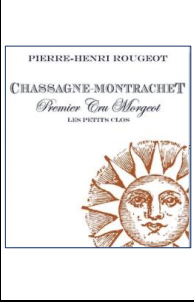

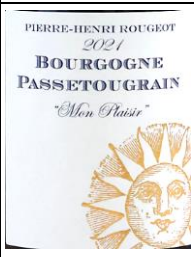
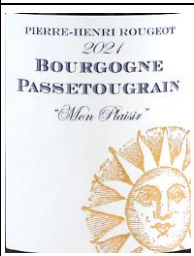
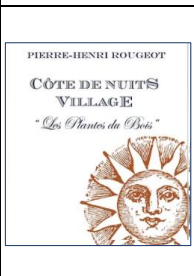

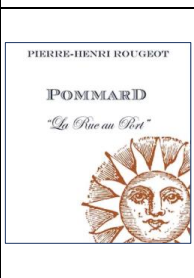


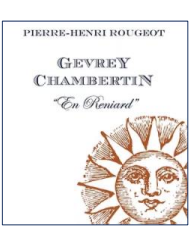
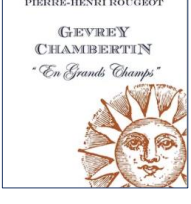
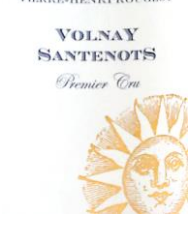

ピエール=アンリ・ルージュは、5世代続くムルソーのドメーヌ・ルージュの当主マルク・ルージュの息子であり、2010年からワイナリーの運営、ワイン造りに参画している。2017年からはドメーヌの運営も彼自身の手で行いながら、ドメーヌのバイオリジック栽培、醸造面でも介入の少ない造りへと少しずつ変換していった。ワインは年々精緻にテロワールを表現するようになっていくと、ピエール=アンリは話す。

そんなピエール=アンリが2017年より始めたのが、自身の名前を冠したネゴシアンワインの醸造。彼の考えに共感し、友人と呼べるような関係の栽培家たちからブドウを購入し、ドメーヌのワインと同様に、瓶詰めまで添加物を使用しない醸造を実践している。

彼が自身の責任においてワインを造れるようになったのは30歳を過ぎてからのことで、自身にはまだ経験が足りないし、やってみたいことは山ほどある。だから例えば休日の土日であってもなるべく訪問依頼などを受けつけ、平日により多くの時間をワイン造りに割けるようにしていると、意欲に満ちている。

	<b>○Saint Romain</b> サン・ロマン		備考	石灰質土壌の急峻な畑。仕上がるワイン申し分なく均衡がとれており、フレッシュで長い余韻が広がる。2019VT初醸造。
畑	品種：シャルドネ100% 位置：400-450m、南西向き 土壌：石灰質	醸造 樽醗酵 18か月間樽熟成		
	<b>○Bourgogne Cote d'Or - Sous le Charme</b> ブルゴーニュ・コート・ドール スー・ル・シャルム		備考	コミューンとしてはムルソー村に属するが、丘から離れた平地にある畑のため、AOPからは外れている。バイオリジック栽培で耕作され、粘土の多い、土壌。2021年からバイオダイナミック農法に転換。2021VT初醸造。
畑	品種：シャルドネ100% 樹齢：1970年代 土壌：粘土が多い	醸造 樽醗酵 18か月間樽熟成		
	<b>○Meursault - Sous la Velle</b> ムルソー スー・ラ・ヴェル		備考	1960年代植樹のシャルドネ、比較的早く熟し、豊かな味わいの緊張感を備えたムルソーに仕上がる。
畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1960年頃	醸造 樽醗酵 18か月間樽熟成		
	<b>○Meursault - Le Limozin</b> ムルソー ル・リモザン		備考	ブルミエ・クリュであるポリュゾ、ジュヌヴリエールの真下の区画。
畑	品種：シャルドネ100% 土壌：粘土石灰質	醸造 樽醗酵 18か月間樽熟成		
	<b>○Meursault - Premier Cru - Poruzots</b> ムルソー ブルミエ・クリュ ポリュゾ		備考	ポリュゾは、レ・ジュヌヴリエールとレ・グット・ドールの間の粘土石灰質土壌の理想的な中腹に位置し、緊張感に溢れ、熟成のポテンシャルを秘めたワインを生み出す。
畑	品種：シャルドネ100% 土壌：粘土石灰質	醸造 樽醗酵 18か月間樽熟成		

	<p>○Chassagne Montrachet - Premier Cru Morgeot - Les Petits Clos シャサーニュ・モンラッシェ プルミエクリュ・モルジョ レ・プティ・クロ</p>		備考	ラ・ロマネの区画の下部で、坂の途中に位置する畑。石灰質土壌で現在樹齢60年ほどのブドウ木が植わり、仕上がるワインからはミネラルを強く感じる。
畑	<p>品種：シャルドネ100% 植樹：1950年頃 土壌：石灰質</p>	醸造		
	<p>○Chassagne Montrachet - Premier Cru - La Maltroie シャサーニュ・モンラッシェ プルミエクリュ ラ・マルトロワ</p>		備考	シャサーニュ・モンラッシェ村に南東に隣接するブルミエ・クリュ。
畑	<p>品種：シャルドネ100% 土壌：粘土石灰質</p>	醸造		
	<p>●Bourgogne Passetoutgrain Rosé - Mon Plaisir ブルゴーニュ・パストゥグラン・ロゼ モン・プレジール</p>		備考	ドメヌ・ルージュからの買いブドウ。ムルソーのコミューンに属する平地の畑で、ピノ・ノワールとガメが混植されている。
畑	<p>品種：ピノ・ノワール、ガメ 土壌：粘土石灰</p>	醸造		
	<p>●Bourgogne Passetoutgrain Rouge - Mon Plaisir ブルゴーニュ・パストゥグラン・ルージュ モン・プレジール</p>		備考	ドメヌ・ルージュからの買いブドウ。ムルソーのコミューンに属する平地の畑で、ピノ・ノワールとガメが混植されている。
畑	<p>品種：ピノ・ノワール、ガメ 土壌：粘土石灰</p>	醸造		
	<p>●Cote de Nuits Village - Les Plantes du Bois コート・ド・ニュイ・ヴィラージュ レ・プラント・デュ・ボワ</p>		備考	コンブランシアン村で坂の中腹に位置する畑。まさに石灰質の土壌で育つブドウからは、優美な構成と集中した味わいという大きな特徴をもつワインができる。現在樹齢50年以上である。
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1960年頃 土壌：石灰質</p>	醸造		
	<p>●Pernand Vergeleses - Premier Cru - Les Vergeleses ペルナン・ヴェルジュレス プルミエ・クリュ レ・ヴェルジュレス</p>		備考	ペルナン・ヴェルジュレスの村の南西の丘にあるブルミエ・クリュ。
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年代 位置：東向き 土壌：粘土石灰質</p>	醸造		
	<p>●Pommard - La Rue au port ポマール ラ・リュ・オ・ポール</p>		備考	ポマール村の下部に位置し、ヴォルネイに向かうclos du Châteauからすぐの畑。この区画のブドウから仕上がるワインは、ポマールのワインの中ではとてもエレガントで柔らかであり、果実が支配的である。
畑	<p>品種：ピノ・ノワール100%</p>	醸造		

	<b>●Gevrey-Chambertin - En Reniard</b> ジュヴレ=シャンベルタン アン・ルニアル			備考	ジュヴレ・シャンベルタン村の南部に位置する畑。現在樹齢35年で完璧なバランスがとれたブドウがとれ、うまみが強く、エレガントなワインにはエネルギーが満ち溢れる。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1990年頃	醸造		
	<b>●Gevrey-Chambertin - En Grands Champs</b> ジュヴレ=シャンベルタン アン・グラン・シャン			備考	ジュヴレ・シャンベルタン村の中心よりやや下部に位置する畑。ジュヴレの中で石灰質扇状地の谷間において、現在樹齢50年のブドウ木は低収量も手伝って凝縮したブドウをもたらす。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1970年頃	醸造		
	<b>●Volnay - Premier Cru - Santenots</b> ヴォルネイ プルミエ・クリュ サントノ			備考	ヴァルネイ プルミエ・クリュ サントノの中でも斜面の下の方の比較的石が少なく、粘土の多い畑。2017VT初醸造。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 位置：標高180m、東向き 植樹：1980年代 土壌：粘土石灰	醸造		
	<b>●Corton Grand Cru</b> コルトン・グラン・クリュ			備考	ラドワ・セリニのコミューンに属するコルトンの丘の東側、コルトン・シャルルマーニュの下側の斜面。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 位置：標高270m、東向き 植樹：1970年代 土壌：粘土石灰	醸造		